

指導医申請の手引き

「乳腺指導医（以下指導医と省略）は、乳腺疾患の高度かつ専門的な知識と診療技能を有し、認定医・専門医を目指すもの（専攻医）を指導する立場の者とする。但し、**指導医資格は広告すべきものではない。**」と定義されています。（専門医制度 第2条第3項）

また、移行期を考慮して、2015年（平成27年）以降は認定施設には指導医が所属し、専門医・専攻医（専門医を目指すもの）を指導していることが望ましいとします。

注）平成28年度より専門医更新に100例以上の乳癌症例の診療経験をもって申請資格とすることが追加となりました。それに伴い指導医申請の際も100例以上の乳癌症例の診療経験が必要となります。

I. 乳腺指導医申請資格

- ① 日本乳癌学会乳腺専門医を1回以上更新していること
注：乳腺専門医の1回目の更新時に指導医の申請が可能
- ② 過去5年間の診療経験（乳癌症例100例）、研究業績（別表1の16点以上）、研修業績（別表2の30点以上）を有していること（**研究業績・研修業績は2014年からのもの**）

診療経験目録（乳癌症例100例）（2013年8月～2018年7月末までのもの）

※認定施設・関連施設での診療経験は問わずどこの施設での経験でも可※

※手術・化学療法・放射線治療・画像診断の全領域を合わせ100例以上の症例を提出することとする。但し、主領域で50例を超えるものとする※

※なお、手術で申請の場合はリスト記載、その他領域は30例を詳細なレポート(書式あり)を70例はリストを提出することとする。

※手術経験は術者に限らず助手でも可、なお、2012年1月以後の症例はNCDに登録したものに限る※

※化学療法は殺細胞性抗癌薬に限る。

（ホルモン療法・分子標的療法のみおよびその併用は不可）※

※画像診断は組織生検で癌の診断のものに限る。※

別表1. 研究業績点数表

	欧文論文	和文論文	国際学会 日本乳癌学会	国内学会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会*	日本乳癌学会 座長
筆頭発表者	10	6	4	3	2	3
共同発表者	3	2	1	1	1	

* 地方創生委員会が認定する**全国規模**の乳腺関連研究会

別表2. 研修実績点数表

日本乳癌学会	国際学会	国内学会 マンモグラフィ講習会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会*	教育・研修セミナー (学会併施)
6	4	3	2	4(1)

* 日本医師会生涯教育講座認定のもの

- ③ 認定施設・関連施設に常勤で勤務し、乳腺診療に従事していること
- ④ 専攻医（専門医を目指しているもの）を指導している（指導した）こと

II. 申請書類および手続き方法

- 1) 乳腺指導医認定申請表紙
- 2) 指導医認定申請書および履歴書
- 3) 乳腺専門医認定証（写）
- 4) 認定施設（関連施設を含む）での勤務証明書

